

令和7年1月7日



新年、明けましておめでとうございます。

中学校での最後の学期がスタートしました。

子どもたちは、受験生としてのプレッシャーを抱えていると思いますが、年末年始はご家族との時間も含め、少しは息抜きもできたことと思います。年が明け、ここからが本番となります。私立1期入試を皮切りにそれぞれの入試のスケジュールに沿って、受験戦線に突入していきます。懇談も十分に重ねていますが、学校側(担任や進路指導主事)からの連絡を含め、保護者の皆様もチェックを怠らないようにご協力ください。よろしくお祈りします。

そして、子どもたちが勉強の伸び悩みや、取り組む教科に迷いか生じてしまった時は、基礎的な部分に立ち返ることや、解きなれた問題集をもう一度やってみるといったアドバイスをしてみてください。一度解いてできるようになっている問題集がすらすら解ければよいですが、意外と穴ができてしまっているケースもあるものです。合格に近づくには目の前の課題を1つずつ解決して積み上げていくしかありません。学校でも最後までアドバイスをしながら、しっかりと取り組ませます。ご家庭においてもお声かけよろしくお祈りします。

● 入試の引率について (重要)

12月の学年便り(冬休み号)でお願いしましたように、高校入試は現地集合を原則とします。

現地で入室確認する教員は、受験者数や学校での授業との関係で決めさせていただきます。県外の高校受験や下記の高校以外の場合は保護者の方に引率をお願いするようになります。保護者引率の場合は、朝、受験校に到着後、中学校に連絡をしていただくようになります。ご理解とご協力をよろしくお祈りします。

教員が当日朝、現地で入室確認する高校は以下の通りです。

私立1期入試について(1月23日・24日)

倉敷高等学校、倉敷翠松高等学校、就実高等学校、おかやま山陽高等学校、作陽学園高等学校

公立特別入試について(2月5日・6日)

岡山県立倉敷工業高等学校、岡山県立水島工業高等学校、岡山県立倉敷商業高等学校、岡山県立倉敷中央高等学校

「一年の計は元旦にあり」その意味は???

「一年の計は元旦にあり」ということわざの由来の一つとして、戦国大名・毛利元就の言葉「一年の計は春(新年)にあり、一月の計は朔(ついたち)にあり、一日の計は鶏鳴(鶏が鳴く早朝)にあり」があります。元日の朝、祝いの食事を勧める家臣に対してこれを断った元就は、次のように家臣に言ったと伝えられています。

「世の愚か者どもは、恵方を拝んで、とそを飲み、長寿・子孫繁栄を祝って浮かれているが、元旦はそんなのんきなものではなく、年の初めに一年の事をじっくり考えるそれが本当の祝いというものである。」一年、一月(ひとつき)、一日それぞれ最初のときこそが計画を立てるべきときであるということ、計画や準備が大切であり、初めの計画ができていないと物事はうまくいかないということですね。

令和7年がスタートしました。まずは、入試終了まで、そして卒業までをどう過ごすのか。そして、新年度からはどのような姿を目指すのか。具体的な計画や目標があった方が取り組みやすいと思います。参考にしてみてください。

〈1月の主な行事予定〉

日	曜日	行事	日	曜日	行事
1	(水)	冬季休業日/閉庁日	16	(木)	
2	(木)	冬季休業日/閉庁日	17	(金)	
3	(金)	冬季休業日/閉庁日	18	(土)	
4	(土)		19	(日)	
5	(日)		20	(月)	3年生 成績のあゆみ返却
6	(月)	冬季休業日	21	(火)	
7	(火)	始業式(3年生6時間・給食あり)	22	(水)	
8	(水)	3年生5時間(1・2年生4時間)	23	(木)	私立1期入試
9	(木)		24	(金)	私立1期入試
10	(金)	3年生 学年末考査/生徒専門委員会	25	(土)	
11	(土)		26	(日)	
12	(日)		27	(月)	
13	(月)	成人の日	28	(火)	
14	(火)	3年生 校内面接指導	29	(水)	生徒専門委員会
15	(水)		30	(木)	
			31	(金)	私立1期入試合格発表



2月の行事予定

2月 5日(水) 公立特別入試(学力)

2月 6日(木) 公立特別入試(面接・口頭試問・実技等)

2月 7日(金) 1・2年 自由参観日

2月 11日(火) 建国記念の日

2月 14日(金) 公立特別入試内定発表

2月 18日(火) 私立2期入試

2月 21日(金) 私立2期入試合格発表

2月 24日(月) 天皇誕生日の振替休日